



プロジェクト名称

ICP (International Communication Project)

プロジェクト活動概要

本プロジェクトでは、留学生の学生生活のサポートや、企画・運営を通じて親交を深めることから、視野を日本から世界へと広め、さらに異なる文化・価値を理解し、尊重しあい、どんな人とも和合して、国際社会で通用する人材となることを目的としています。また ICP の活動を通して、本学の学生が留学生の母国に興味を持ち、留学へと意識をつなげていければと思っています。

プロジェクト終了後に目標とする成果・結果 / その進捗

- ① 企画したイベントに定期的に参加してくれる留学生の国籍を前年の 3 倍にする。
- ② 日本人と留学生のイベント参加者を 1 : 1 にする
- ③ GSS や GLC など、他団体と協力した企画を 5 つ以上運営する。

目標に対する進捗について 300 字以内で記入

今年度の活動の終盤であるという事で、代替わりを考慮して下級生の運営及び参加を意識してイベント作成を行った。その結果①の目標と同時に②の目標もおおむね達成できたと考えている。この冬行ったスキー旅行では約 50 人の学生が参加してもらい、留学生と日本人がおおよそ 1:1 であったことは喜ばしい結果であった。その中では今までは参加者として満足していた後輩の日本人学生たちも率先して雪に不慣れな留学生たちのサポートや旅館の手配などにも尽力してくれたので来年度以降の活動の弾みになることを期待している。また、この企画も学生課の方の援助を頂き運営が可能となったため③に関してもある程度達成できたといえる。

活動状況報告 & 活動写真

活動期間：2017 年 1 月 1 日 ～ 3 月 31 日

～スキー旅行～

2月6日 福島県の猪苗代にて 1泊2日のスキー旅行を行いました。参加者である 52 人のうち半数近くはブラジル・タイ・サウジアラビア・フランスなどの留学生であり、大陸を越えた同世代の交流を行えました。中には雪に初めて触れる留学生も多くいたので彼らにとっても貴重な経験が行えたのではと思います。企画運営に関しては、2,3年生を中心に行ったため、普段大宮キャンパスにいる学生にもイベントの広報がいきわたり、交流機会及び ICP の活動内容も広く伝わったと感じています。





これを機に来年度以降も彼らを中心にもっと ICP を盛り上げて行ってほしいと感じました。

また、本イベントも学生課の方に協力を頂き運営が可能となったので、今後も大学の関係者との連携を深めていきたいです。



今後の活動計画、目標、意気込み

先ほど述べた通り、ICP の活動は近年参加人数や規模が拡大してきているのを感じています。これほどの組織を運営するにはあらゆる大学の関係者の方のご協力が必要であるという事も実感しました。1年を通して達成できた面もできなかった目標もありましたが、今年は幅広い留学生と交流するきっかけを得られたと感じています。その一方交流から一歩進めた、協創といったお互いが協力して何かを創り上げるといった機会までは築けなかったというのが反省点です。これからも活動の輪を広げていき、大学内を巻き込んでいけるような存在となれるように精進したいと思います。